

しなやか通信 第40号

2012年 夏

皆様に愛されて4年半・・・、何かのキャッチコピーのようですね。

しなやかシニアの会は活動拠点としている現在の中央の町家を引っ越します。と言っても新たな拠点となるのも同じ中央の町家、今の所から数十mほどしか離れていません。

少し趣きは違いますが、ここでさらに充実した活動を続けて行きたいと考えています。

何事も無くても、日本人口にシニア世代が占める割合は右肩上がりです。とても大きな問題で、私たちがどうこうできることではありません。大自然の中では、あらゆる生物が組み込まれたプログラムの流れで堂々と命を全うしています。私達もそれに習って、幾つに

なっても楽しく元気で輝き続けることを望んでいます。引っ越しは、お盆過ぎから少しずつ行います。お手伝い下さる方がいれば助かります。厚かましいとは思いますが、よろしくお願い致します。

易というものの、全般についてお話ししてもらおうという企画。主には「タロットについて」をお聞きし、その後個人で数人希望者が占ってもらって・・・余り身近でない世界に触れ、うなずいたり、首をかしげたり、皆さん好奇心いっぱいのお持ちでした

5/23 タロット占いのお話



7/12 文月茶会に参加して

5月・6月・7月 終わりました～



「花寄せと聞香」今回の茶会はこの二つが体験できると聞いて興味津々で参加しました。午前の部の参加者は八人。

最初は「花寄せ」。20種以上の花が花台に載せられて登場。一人ずつ好きな花を2-3本選んで好きな花器にさしていきます。花を決めて活けるまでのドキドキ感がたまりません。活けられた花は花器と馴染んでどれも素敵でした。

次は「聞香」。香炉を左手で持ち右手で覆うようにして香を聞くのですが、沈香のほのかな香りが心地よかったです。

そして「薄茶」。枇杷の形をしたお菓子も瓢箪のお干菓子もリュエル特製。とても美味しかったです。

このお茶会は終始和やかな雰囲気の中で楽しむことができました。終わった後、とても楽しい充実感が残り次回も是非参加したいと思わせる何かがありました。この雅で楽しいお茶会を催して下さったお茶倶楽部の方々に心から感謝いたします。(YA)

6/30 乾杯しよう ～地ビールで～

“どの地ビールが好み？”

“う～ん、もうわからなくなったよう～”

10種類もの地ビールを楽しみました。



梅雨時の日本を出て、真冬のニュージーランド北島にあるマオリ文化と温泉の噴き出る町口トルアを訪れた。現地で案内してもらった日本人ガイドさんと昼食を取りながらいろんな話をしたが、日本中でニュースとなった「大津のいじめ問題」のこと、NHKの大河ドラマのことなどネットで情報を得るからと、南半球にいてリアルタイムで話題を共有していた。日本を長く離れているからと言って今浦島にはならないのだ。

しなやかなつばき

文字を持たなかったマオリの歴史や文化を表す木彫りと集会所の建物、今も残る顔や腕への入れ墨、ニュージーランドの植民地化、オールブラックスもやる戦士の踊り“ハカ”、そこで知り得たことは感慨深いものだった。

余談になるけれど、帰りの飛行機の外国人キャビンアテンダントさんのこと、「もう少しお茶をお注ぎしましょうか?」「お下げしてよろしいですか?」と何回となく声を掛けてくれた。この気配りの言葉のかけ方はどこで身につけたのだろう・・・ (K.S)